

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

| 学校経営中期取組目標 |
|---|
| <p>○学校教育目標具現化のために育成を目指す資質・能力と教育活動について検証し学力向上と児童指導充実に取り組みます。</p> <p>○信頼される学校づくりのために、学校広報の充実、地域連携、コンプライアンスの徹底、安全管理等に取り組みます。</p> <p>○効率的な学校運営を実現するために、人材育成、校内組織、環境整備、情報の共有化、校務のICT化等に取り組みます。</p> |

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

| 重点取組分野 | | 取組目標 | 具体的取組 |
|--------|-----|--|--|
| 豊かな心 | | 正しく善悪を判断し、ルールや礼儀を大切にすることを育て、自分と同じように相手を尊重する心や態度を育てる。 | <p>① 「特別の教科 道徳」の時間を大切に、児童自身が考える場、実践を通して振り返りをする場を設定し、授業の展開を工夫していくとともに、規範意識を高め、自分で考え適切な判断ができるようにしていく。 道徳教育の充実</p> <p>② 縦割りの「ふれあい班」活動やクラブ活動などを通して、互いのよさを認め合い助け合おうとする仲間意識を育てる。 体験学習の充実</p> <p>③ あいさつ運動を継続し、人と人とのつながりを大切にしていく。 豊かな人間関係づくりの充実</p> |
| 担当 | 道徳部 | | |

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

子どもたちは明るく素直に育ってきており、横浜市学力・学習状況調査でも自己有用感が比較的高く、人とのかかわりを好む子どもが多いという結果が出ている。しかし実際には、挨拶の習慣や徹底、丁寧な言葉遣いなど、人とのかかわり方の基礎が身に付いていないために、トラブルになることも多い。生活意識調査での「友だちや家族との約束を守ること」が市の平均を下回っていることから、友だちや家族とのかかわりについても課題がみられる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・保護者に向けて全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・身近な体験から道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるように、他教科、行事との関連を図る。
- ・朝会の時間を使い、定期的に思いやりのある言葉や手助けなどの親切についての考えを深められるような講和を行う。

【項目 体験学習】

- ・丁寧な言葉遣いや約束を守るなど集団としての望ましい態度を育てるために、異学年集団による「ふれあい班」をもとに、「ふれあい給食」「全校遠足」「ふれあい集会」など、年間を通して様々なふれあい活動を展開する。
- ・自己肯定感や自己有用感を高めていくために、成功体験を積み重ねる体験学習を展開する。

【項目 豊かな人間関係作り】

- ・人と人との望ましい人間関係づくりを行えるよう、校内「スマイルサポーター」を中心としたあいさつ運動を充実させたり、登校班や下校での地域の方への積極的なあいさつを価値づけたりする。